

# 『平成29年度 全国学力・学習状況調査 結果・分析』

江戸川区立一之江第二小学校

調査日 平成29年4月18日（火）

対象学年 第6学年実施人数： 147名

## 【結果】

| 《結果》平均正答率 | 国語A   | 国語B   | 算数A   | 算数B   |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 本校        | 79%   | 68%   | 83%   | 55%   |
| 江戸川区      | 74%   | 57%   | 77%   | 45%   |
| 東京都       | 76%   | 60%   | 81%   | 49%   |
| 全国        | 74.8% | 57.5% | 78.6% | 45.9% |

※国語A・算数Aは主として「知識」に関する問題。

※国語B・算数Bは主として「活用」に関する問題

## 【全体の分析】

○全ての項目において、江戸川区、東京都、全国の平均正答率を上回っている。

○国語A、算数Aともに80%近い正答率に達しており、基礎的な学力が大方定着していることがうかがえる。

○国語B、算数Bともに東京都の平均正答率を6%以上上回っている。このことから、基礎的な学力を活用する力がついていることがうかがえる。

## 【教科ごとの分析】

### 国語

|      | 国語A（基礎） |       |      |      |      | 国語B（応用力） |       |      |      |
|------|---------|-------|------|------|------|----------|-------|------|------|
|      | 全体      | 話す・聞く | 書く   | 読む   | 言語   | 全体       | 話す・聞く | 書く   | 読む   |
| 本校   | 79      | 77.6  | 64.3 | 73.5 | 82.1 | 68       | 79.2  | 62.5 | 59.6 |
| 江戸川区 | 74      | 68.1  | 60.7 | 70.0 | 76.4 | 57       | 64.5  | 52.3 | 48.6 |
| 東京都  | 76      | 72.4  | 61.7 | 72.7 | 79.1 | 60       | 66.8  | 55.3 | 51.9 |
| 全国   | 74.8    | 69.2  | 60.6 | 70.2 | 78   | 57.5     | 64.9  | 53.4 | 49.2 |

○基礎的な問題においては、全ての項目において東京都平均を上回っている。中でも言語については、平均正答率が80%を超えており、基礎的な定着が図れていると考えられる。

○応用問題においては、全ての項目において東京都の平均を大きく上回った。

本校では、漢字の定着を目的として毎学期漢字強化週間を取り入れている。また、定期的に漢字の小テストをするなどして、新出漢字の定着を図るとともに児童の意欲付けを行っている。

また、校内研究で、説明文の学習に力を入れている。特に、学習したことを自分なりにまとめる活動に力を入れている。応用問題に対する高い平均正答率は、この学習の成果が現れたものと考えられる。

## 算数

|      | 算数A（基礎） |      |      |      |      | 算数B（応用力） |      |      |      |      |
|------|---------|------|------|------|------|----------|------|------|------|------|
|      | 全体      | 数と計算 | 量と測定 | 図形   | 数量関係 | 全体       | 数と計算 | 量と測定 | 図形   | 数量関係 |
| 本校   | 83      | 83.4 | 75.5 | 86.4 | 88.2 | 55       | 64.2 | 53.4 | 21.1 | 49.2 |
| 江戸川区 | 77      | 79.1 | 69.4 | 78.9 | 78.9 | 45       | 53   | 44.4 | 13.9 | 38.8 |
| 東京都  | 81      | 82.2 | 72.8 | 82.5 | 82.3 | 49       | 55.8 | 48.8 | 19.2 | 43.4 |
| 全国   | 78.6    | 80.6 | 68.8 | 81.1 | 79.6 | 45.9     | 52.8 | 47   | 13.2 | 40   |

○基礎的な問題においては、3つの分野について平均正答率が80%以上を超えており、これらについては一定の定着が図れていると考えられる。一方で、量と測定においては、更なる定着に向けて重点的な指導が必要である。

○数と計算、数量関係の応用において、東京都の平均を大きく上回った。

○図形の分野の応用は、他分野に比べて平均正答率が低く、苦手としていることがわかった。

本校では、毎週水曜日の朝に取り組んでいる『パワーアップモーニング』、金曜日に取り組んでいる『パワーアップフライデー』、毎学期1度取り組んでいる『家庭学習週間』において、東京ベーシックドリルを活用して基礎・基本の定着に取り組んでいる。今後も、家庭と連携しながら児童の基礎・基本の定着を図っていきたい。

今回の調査では、両教科の全ての項目において、江戸川区、東京都、全国の平均正答率を上回った。これは、児童の努力や本校の取り組みの一定の成果と捉え、今後も継続して指導していくとともに、課題点を今後の指導計画に反映させていく。